



森の植物園への招待

大阪市立大学理学部附属植物園

開園60周年記念講演会

森の植物園への招待

大阪市立大学の植物園は、大阪府交野市の自然豊かな生駒山系の一角に1950年4月に設立され、1954年6月から一般に公開されました。今年は、この開園から60周年の節目にあたります。今回、これを記念した講演会を大阪市立大学文化交流センターで開催します。講演会では本植物園と関係の深い植物などについて、4名の演者にお話を伺います。また、60年の歩みをふりかえる特別展示を6月1日から植物園で実施し、その一部は講演会場でも展示します。私たちの生活と文化は植物と密接に関係しています。これを機会に植物の大切さについて考えていただけると幸いです。皆様の参加をお待ちしております。

日 時：2014年5月17日（土）13：00～15：40

場 所：文化交流センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル 6階
（JR「北新地駅」より徒歩3分、JR「大阪駅」および地下鉄
「梅田駅」より徒歩10分）

定 員：100名（入場無料、申込制・先着順）



13：00～ 開会挨拶

「私市（きさいち）植物園と親しまれて60年」 飯野 盛利（大阪市立大学理学部附属植物園 園長）

13：10～ 記念講演 「メタセコイアの魅力」 南木 睦彦（流通科学大学 教授）

メタセコイアは、大阪市立大学理学部附属植物園元園長である故三木茂博士が化石に基づき命名したもので、絶滅したと考えられていましたが、その後中国で発見されました。本植物園には初期に日本に来た苗木から育ったものを含め、見事な樹林が育っています。命名70周年の2010年には、三木コレクションの化石展や国際シンポジウムも開かれました。メタセコイアの魅力と、最近の研究結果を紹介します。

13：40～ 記念講演 「木を知る楽しみ」 佐藤 治雄（大阪府立大学 名誉教授）

「名を知るは愛の始めなり。」 昔、四国の山案内のテレビ番組である林学の先生がおっしゃった言葉です。この木のつぼみはネバネバしているね。この木の落ち葉はこんなに甘い匂いがするのか。なぜこの木はこれ程大きくなるのか……。木の名前を知り、その特徴を少しずつ知っていくと、その木に対する親しみがぐっと深まり、戸外へ出るのが楽しくなります。この講演では、木を知るコツや目の付けどころ、考え方などについて私の経験から得たものを中心にお話しします。ハンカチノキ、ムクロジ、セコイアオスギ、トチュウ、……。どれだけお話しできるでしょうか。

14：20～ 記念講演 「植物園の森にぐらす動物たち」 谷垣 岳人（龍谷大学 講師）

動けない植物は、動物たちにひたすら食べられる存在です。しかし、やられるばかりではありません。受粉や種子散布のような植物の繁殖には、動物をうまく利用しています。このため、人が作りだした植物園でも、植物と動物との多様な関係が築かれます。フィールド調査から見てきた、人の意図を越えて創り出される植物園の生態系について紹介します。

14：50～ 記念講演 「タンポポ：身近で不思議な植物」 伊東 明（大阪市立大学 教授）

春、大阪市大植物園には見事なカンサイタンポポの黄色い絨毯ができます。大阪は市民によるタンポポ調査発祥の地、身近なタンポポも良く調べてみると実は不思議に満ちています。大阪では開発に伴って日本在来のカンサイタンポポが減り、外来のセイヨウタンポポや雑種のタンポポが広がってきました。身近なタンポポの変遷とそれにまつわる不思議を紹介します。

15：20～ 意見交換会

15：35～ 閉会挨拶

〈申込方法〉

件名を「開園60周年記念講演会参加希望」とし、氏名・住所・連絡先をご記入の上、メール、ファックス、ハガキのいずれかでお申し込みください。来園して植物園事務所に直接お申し込みいただくこともできます。

〈申込先・お問合せ先〉

〒576-0004 大阪府交野市私市2000
大阪市立大学理学部附属植物園
TEL 072-891-2059 FAX 072-891-2101
b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp